

Title: 「engage」



谷本 結利
静岡県静岡市生まれ。
お茶好き。
ラグビー好き。
ラグビーシーズンはほぼ毎週両親父富。

● 最近のエントリー

- ☐ ペナン島☆ (2006.05.28)
- ☐ phu-phu-phuket☆ (2006.05.17)
- ☐ フム探し (2006.05.13)
- ☐ ムエタイ☆Muay-Thai☆ (2006.05.02)

● アーカイブ

- ☐ 2013年04月
- ☐ 2012年01月
- ☐ 2011年09月
- ☐ 2011年08月
- ☐ 2011年04月
- ☐ 2011年01月
- ☐ 2010年11月
- ☐ 2010年08月
- ☐ 2010年07月
- ☐ 2010年06月
- ☐ 2010年04月
- ☐ 2010年03月
- ☐ 2010年01月
- ☐ 2009年12月
- ☐ 2009年11月
- ☐ 2009年09月
- ☐ 2009年08月
- ☐ 2009年07月
- ☐ 2009年06月
- ☐ 2009年05月
- ☐ 2009年04月
- ☐ 2009年02月
- ☐ 2008年11月
- ☐ 2008年06月
- ☐ 2008年05月
- ☐ 2008年01月
- ☐ 2007年12月
- ☐ 2007年07月
- ☐ 2007年04月
- ☐ 2007年01月
- ☐ 2006年12月
- ☐ 2006年11月
- ☐ 2006年10月
- ☐ 2006年09月
- ☐ 2006年08月
- ☐ 2006年06月
- ☐ 2006年05月
- ☐ 2006年04月
- ☐ 2006年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



Your Vision, Our Future

RSS 2.0

engage > 2006年05月 アーカイブ

06.05.28

ペナン島☆

Tweet

いいね! 0

チェック

マレーシアのペナン島での3日間が

いままでで、きっと日本出てから一番ハードだったと思う。体力的に。正直きつかった。。。

その前にタイからマレーシアへの入国は初・寝台車でした☆
楽しいね、寝台車☆実際超暇子だけん☆でも好き☆
ななご購入の手塚治生に大変お世話になりました☆

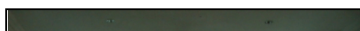


さてペナン島☆

まず1日目☆

着いた日なのでとりあえず宿探し☆学校泊を頼んでなかったのもっと安いとこに泊まらなきゃ意味ないってことで安くできいなとこ探し☆

私とこちゃんが元々目をつけてたところがちょっとぼろかったけんなんだかかゆいくておもしろい通りだったんで決定して入ろうとしたらあびちゃんときいちゃんが..☆
違うとこ泊まる予定だったらしいけんそこお気に召さなかった様子。結局4人同じホテル☆





初日なのでけいちゃんとかんちゃんであらうついでみる☆
でかいモールみたいのを発見し、そこで日本食を食べてみた☆
味は、また何か勘違いしてる感じだった★



その建物の中のデパートに日本の食品がたくさんあったので、買い込んでホテルに帰りあびちゃんも加えてお菓子パーティーを開催☆



2日目☆ハードな日々の中☆
ペナン島で一番きれいなビーチに行こうと、またいつものかんちゃん、けいちゃんに加え、五十嵐先生と向かった☆

チャリで☆

先生 「どう行ったら行けるとかわかってんの(?)」
けいちゃんかんちゃん 「いや、さっぱりです(・ω・)でも海沿い走れば着くんじゃね???みたいな感じですよ笑☆」
...先生がいてもいつも通りね☆

最初はひさびのチャリが気持ちよくて快調に走っていた☆

でも思ったよりも、はるかに、はるかにそのビーチは遠かった★
とりあえず海沿い走れば着くんじゃね??、という「無計画な計画」の下、走り続ける。

1時間以上走り続け、やっと「Beach」の看板を見つける。
行ってみると幅5mくらいの狭いビーチに小さなお店が1軒あるのみ。
そして海は濁っていた★汚い泡も浮いている★

竹富島やブーケットなどのきれいな海を見ずぎたせいか、これに入る気はしない★
写真も撮らなかった★

そこのお店の人に話を聞くと、ここは島で一番きれいなビーチではなかったらしい。



ただ...島で一番きれいなビーチもこと変わらない、という話だ★
先生はかなりがっくししていた。
お店のおじさんにそれなら現地民しか知らない川につれてってやると言われ、 悩む★
自転車を担がないと越えれないとこもあるようだった。
うーむ。とりあえずジュースを飲みつつ会議会
もっすぐお昼だけんご飯はここから3km戻るか、一番きれいなビーチまで行くかしかなかった
たので、目的は海だし、ってことでその一番きれいと言われているビーチを確かめに行くことにした。

また走り続ける★

坂が多すぎる★きつい★

なんでこんなにまでしてたいしてきれいなビーチに??という疑問と、帰りもこの道を
チャリか...ということで割とテンションは下がる★チャリは好きですが。。。

そして途中でスコールが。。。

雨で前が見えない★コンタクト流れるんですけど★でか雨強くて痛い★

でもそんな感じも実は好きなので楽しい☆

私何やってんだろって感じね☆体力的な☆

雨の中、山道をかなり走ってケンタを見つけたのでびしょぬれのまま入店☆eat in☆



食べてる間に晴れたのでまた走り続ける。

ビーチ付近に着いてもビーチ入り口は見つからない。

リゾートホテルの合間を縫ってたどり着いたビーチは.....やはりさっきのビーチと同じ。。。

みんなため息ばかりが..みたいな感じだった。

そのときすでに15時をまわっていたので、悔しかったがこれからどこかに行くことは諦めた

★
帰ってネットカフェでも行こうかという感じで、またチャリをこぎ始める。

晴れたら今度は目にゴミが入る。ハードコンタクトではなく、ソフトコンタクトにすべきだったといまさらの後悔。

きつい★坂多すぎだぜ★

途中で水分補給のためにプラザ・ガーニーというショッピングモールに寄った☆



しかし5カ国目にして金銭感覚の狂っている私達は、カフェの飲み物など飲めなかった。よく考えれば日本円にしてみれば150円くらいのものに出せなくなっていた。日本じゃ150円でカフェでお茶はできませんよ☆しかしコンビニで買おうと60円くらいで飲めるのにも思っただけで買わずに結局何も買わずにチャリを置いたところに向かっていた。

そしてまた走り続けホテルがあるショースタウンに着いたころにはへとへとだった★とりあえず7で飲み物だ、と7へ行き、外で一気飲みしている間にまた大雨が...★レンタチャリ屋さんはすごく近いのに大雨すぎて動く気もなかった。。そんな中、五十嵐先生は「そういえば俺、雨の写真撮ってない(・ω・)」と言ってすぐにデジタル一眼を取り出し撮影を始めた☆さすがです、先生☆



一方、うちらは「けいちゃん雨やませてよ」「いやーさすがにこれは無理でしょー」といった会話を延々繰り返しながらけたる感じを立てるだけだった笑★

雨が弱まったのを見計らいチャリを返しに行った☆普通に濡れましたけどね★

ホテルに帰り（五十嵐先生もうちらのホテルへ）、休憩&翌日の相談☆この疲れでまだアクティビに遊ぶ気だわ★だらつくよりは全然楽しいからいいんだけんさ☆ベナン・ヒルからランカウイ島が迷う。結果は保留のまま先生は学校側のホテルに帰っていった☆

3日目☆

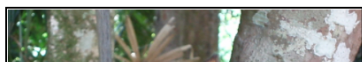
結局ベナン・ヒルに登ろう、ということになったのでホテルまで先生をお迎えに行く。そして一緒に先生行きつけのカレー屋さんでご飯☆



先生 「どうやって行くとか決めてんの(???)地図とかあるの(???)」
けいちゃんこんちゃん 「いやーとりあえずタクシーの人に登山口って言えば行けんじやないすか(???)笑」
今日もそんな感じね☆

こんちゃんの情報によればケーブルカーで行けば30分、歩けば2時間☆このメンツでケーブルカーなんて乗るはずはない☆

タクシーに登山口であるしてもらったものの何もわからない。私とこんちゃんが猿を見つけちゃってはいっているうちに先生が人に頂上への道など聞いていた☆





地図を見せられたが縮尺は不明★まあ道わかればいいからいいかと歩き始めた。



急すぎる階段を登り続ける。。。たまに傾斜45度越えてるだらってこも。。



へんな木☆



毎日登っているというおじさん2人組に出会い、滝に連れてってもらった☆





滝って涼しいよね☆そして出てるかわからないがマイナスイオンを浴びた気になり少し体力復活☆
2人紐のおじさんたちが登るの早すぎて、こちらは見捨てて行ってほしかったのに親切で待っていてくれちゃうプレッシャーで早く登らねばならずへとへとだったのだ☆

少し行けば休憩所があるから頑張れと励まされ、登りつづける☆
でもここは道？？ってどこもわりと通りましたけど。



おじさんの少して長いわぁと思いつつついていき、休憩所に到着☆
そこは無料でお茶と水（お腹の安全のためにお湯）が飲めるようになっていた☆

ちょっと休んでから、おじさんのあと20分行けば頂上だという言葉信じ込みまた登り始める☆

頂上にはさっぱり着かないがまた休憩所を発見☆

ここにはお菓子もあった☆お茶飲みまくり、お菓子食べまくる☆
ここのお茶やお菓子は募金箱のような箱に入れられていく登山者たちのお金でやっているよう
だった☆
特に管理者はいないようで（もしくは当番制？）来た人がお湯沸かしてお茶入れてという感じ
でとても素敵だった☆私もお金はたくさん飲んで食べた分、たくさん入れてきた☆



充分休んでから頂上と示された道へ入る☆しかし確実にジャングルだ★
休憩所から普通に舗装された道が出てたけん頂上の矢印がこっちだったから来てみたものの、
デジカメを持って余裕すらない道になっていく★
そして迷子になりかける★
迷子は嫌だったので引き返すことに...★

Uターンしたところからの景色☆

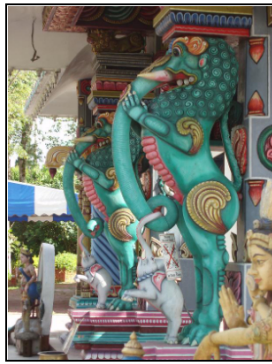


先ほどの休憩所まで戻り、舗装された道に行く☆
舗装されてるにしてもうんざりするような坂道が続く。。。
ひどい★きつすぎる★



結局2時間で行けると聞いていた道のりが4時間近くかかって頂上到着★

頂上にはインド系の寺院があって、滑り台などの遊具もあった☆



景色が見えるところに行ってみたら、学校前のゆまちゃん、よっこ、たぐりくん、すみちゃんがいた。
ケーブルカーで来たという話だ。30分か。満員電車のような混み具合だったらしいけん。

頂上からの景色☆



けいちゃんこんちゃん私の3人は恐ろしく帰りも歩こうかどうか迷って話し合っていたが、先生の一言で一瞬でケーブルカー決定☆

疲れてるんだからざっとそれが正しい選択だ☆

ケーブルカーはホントに満員電車のように混んでいた。車両は斜めすぎておもしろかった☆



ジョージタウンに戻ったら山市くんと明日香さんに会ったので一緒に日本食屋さんに行くことにした☆

もう疲れたから高いがいたしかたあるまいて考えで一致したからだ☆

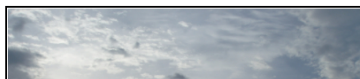


この日もけいちゃんは丼物2つ、こんちゃんもメインだろうってもの2つ、五十嵐先生も同じくた。

私はぎつねうどんとツナマヨ巻きと納豆巻きと梅茶漬けを食べた☆確実に食べすぎだ★
自分が太りにくい体質であることに感謝だ☆

4日目☆

この日は朝から船でランカウイ島に行った☆





残念ながら五十嵐先生は定時連絡があるため一緒に行けず★
朝の私のメールに気付かず爆睡なほど疲れがたまっていたようですが。。

2時間半の船旅は爆睡☆
しかし途中からインド映画のダンスシーンの音楽に悩まされ洗脂されかけて目覚める★

ペナン島を出る頃には降っていた雨もやみ、ランカウイ島に着いたら晴れていた☆

ペナンのビーチががくしだったからきれいなビーチを求めてランカウイに来てみたものの...

写真ではとてもきれいに見えますが濁ってるんですよ、これが。確かにペナンよりは確実にきれいだね☆



テンション低い2人。



けいちゃんはしゃいでみようか??ってこれ☆

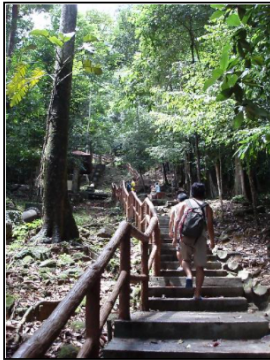




ビーチがこの状態でいまからどうするかを、恐ろしくテンションが低いま話し合う★
ツアーに参加するという案が有力になりかけたが、私の「お金高いからヤダ」という一言でつぶれる。
決定権は私にあるのか...と少し戸惑う。だがまあいいか。

地図で滝を発見したので、行くことに☆

滝の登り口でおろしてもらい、また長い階段を登る☆
ペナン・ヒルほどではないが急だ★



あまり期待しないで行ったのにこれがおもしろかった☆
大きな岩が水で削られて天然ウォーターライダーみたいになってた☆

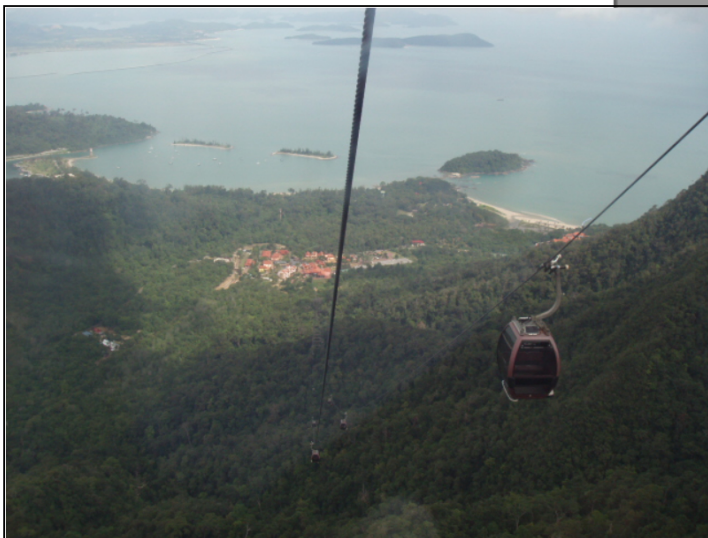


私はこの日は泳げなかったので2人を撮ることに専念したけん、おもしろすぎてムービーでしか撮ってないのでのせれないって落ちたわ★

だいぶ楽しんでたよ、2人は☆

その後は、少ない時間をおいて山と山をつないでいるロープウェイに乗りに行った☆

ロープウェイは怖かった★
高すぎでしょ★下まで一体何mあるんでしょうね。80mは確実★



地上の赤い屋根があるところがスタート地点です☆写真ではあまり高さが伝わらなくてがっくしですが、まさに怯えながら乗ってました☆





↑ロープウェイの頂上のちょっと下にある橋☆飾すぎる★



ツアーは「お金高いからヤダ」という私のわがまま発言からこんな一日になったのでよく言っ
たと褒められた☆

こんな感じの濃厚すぎる3日間でした(>ω<)
楽しすぎたけん、疲れすぎたー(*ω*)
でもやっぱり疲れても動かないより全然いいけん☆

でかなぜ女の私がこの体力とチャレンジ精神の塊みたいな男たちと一緒にアクティブに動けて
しまっているんだらうか☆
体力ある方でよかったわ☆2人に言わせればまだまだらしいけん★

カテゴリ:

post by 谷本 結利 | 日時: 2006.05.28 | [バナーリンク](#) | [コメント \(24\)](#) | [トピックバック \(0\)](#)

engage > 2006年05月 アーカイブ

06.05.17

phu-phu-phuket ☆

Tweet

いいね! 0

チェック 5月5日～10日
までブーケットに

行ってきた(>ω<)



夜行バスで行ったので実質いたのは6日～9日だけけん☆
夜行バスは首とかいろいろ痛くなるけん楽しかった☆
夜中にターミナルみたいな、サービスエリアみたいなところに停車して、みんなで軽めの食事をとった☆

1つのテーブルで6人ずつくらい食べるんだけん、みんな全然知らない人同士で、会話もほとんどないのに、ご飯をお互いよそったり、お水も近くの人がついたり、不思議な感じで食事は進んでおもしろかった☆
まゝ写真は撮りそこねただけんさ★

ブーケットはリゾート地でしたよー☆とても素敵なおとこです☆

6日の朝着きましたがその日は雨&曇りでした。
でもこの青さ☆



ブーケットのトゥクトゥクはこんな感じ☆



いままでのと違いすぎよね。
なんか違う名前つけたら？と乗るたび思った。

私はブーケットにもムエタイを撮りに来たんだよね☆
でもゆんかバンコクのラーチャダムヌーンに比べてもっと「観光客」って感じのお酒飲んでる西洋人ばかりで、試合も毎週チャンピオンベルトかかっている感じだった。ラーチャは地元民の方が多かったし私はラーチャの方が好きかなあ。。



泊まったホテルはとても綺麗で静かで素敵でした☆
ほとんど撮影で外にいたからあまり清潔しきれなかったけん★
出かけて帰ってくると、ベッドとか洗面所にお花が踏ってあった☆

いいなあここの☆



とっても綺麗でプール内にバーまでついでるプールもあったけん、結局一回21時過ぎに30分くらい泳いだだけだった★



スクールと曇りに悩まされた3日間だったけん晴れたときのビーチは最高に綺麗☆ (◎ω◎) ☆



↑↑こんちゃんはビーチ撮影しまくってましたよ☆

撮影がなければ...みたいなね。
撮影しなきゃ何しに來てんだって話だからいいだけん、カメラ持ってたせいで結局一度も海で泳げなかった★
へこも★すっごく綺麗なのに★焼き砂のビーチもあるのに★

まゝ撮影來てんだから我儘のと言いつかせ、ジムに行ったりスタジアムに行ったり。
んで結局ジムはポスター作ってるだけで練習してなかったり。

一度は泳げよかった(w;)と今でもかなり懐しく思うってしまうほどの海でした☆
ぜひ撮影ではなく遊びで行くときよいでしょう☆

撮影はしなくてもですが正直我慢しすぎた後悔はいまでもあるくらいですので、一日は撮影しない日も含めて日程をたてたらよいかと思います☆まで☆



カテゴリ:

post by 谷本 結利 | 日時: 2006.05.17 | [パームリンク](#) | [コメント \(18\)](#) | [上ラックバック \(0\)](#)

engage > 2006年05月 アーカイブ

06.05.13

ジム探し

Tweet

いいね! 0

チェック ムエタイのジムは探すのはすごく難

しかった。

地図にはのってないし、手がかりも数少ないサイトだけ。

バンコクにはすごくたくさんジムがあるのに、行けたのは2箇所だけだった。しかも1つは2日がかりで探した。

先生と一緒に行ったソーラビンジムの観光客の体験入門を多く受け入れていたので手がかりも多くわりとすぐ見つかった☆

もう1つのセマラコットジムが2日がかり。。。手がかりは「ラーチャダムヌーンスタジアムの裏の方。ホテル・ゴールデンホースの通りから十字路を渡る。ワット・セマラコット内左奥。」だけだった。

こんにちはが急にまた調子悪くしたので病院に行って結局なんだかわからないが治療には充分満足した感じで病院を出た後、ジムを探しに行った☆ラーチャダムヌーンの係りの人に聞けばわかるだろうと行ってみたがワット・セマラコットさえもわからないうえに★みんなとっても親切で考えてくれるんだけど、言葉の壁もあり結局その日はさっぱり。次の日はゴールデンホースの近くのワット・サケットまでタクシーで行ってもらい、そこからは一人で歩いて探そうと思っていた。でも、タクシーのおじさんがまずワット・サケットまで行けなかった★でも親切な人で、また一緒に地図を見て、自分の地図も出して考えてくれた☆

結局わからなかったから、「ここでいいから降りて、ここからは歩いていきます」って言ったら、タクシーのおじさんは「あなたはここで降りても迷子になっちゃうだけだよ。危ないよ。」と言って政府公認のジャケットを着たバイクタクシーの人のところまで連れてってくれた☆そしてバイクのおじさんに事情を説明してくれた☆優しい☆バイクのおじさんはサケットを知っているらしくすぐに笑顔で「OK☆」と言っていた☆タクシーのおじさんにお礼を言って、今度はバイクへお乗換え☆私はそれまでバイクは怖かったので、これが初バイクだった☆ベトナムで新村さんに乗せてもらったときの様にノーヘルではなかったから、メットが重かったけど快進だった☆おじさんは私に日本人か?と聞いて私がすぐにそうですと答えると、少し黙って考えてから「(@@)アリアトウ(>@<)」と言った☆素敵な笑顔でワット・サケットに着いてからも見所を説明してくれて、入り口までついてくれた☆またも優しい☆ホントはここが目的地じゃないんだけど、でもおじさんの笑顔で行きたくなかったのでついで行ってみた☆

綺麗だった☆金色の塔みたいなのが寺院の屋上にあって、周りも展望できた☆...まあまったく説明できないうえに。なにしろ何も知らずにジムの目印のつもりで行ったので許してくださいませ★

wattosaketto.JPG





さて私は迷子。。。
とりあえずワット・サケットを出てから、道で地図を広げて困っていると、知らないおじさんが「どこに行きたいんだ？」と声をかけてきた。
セマラコットジムというムエタイのジムを探していると言明したけん、ムエタイと聞くとの情報はすべて聞かなかったことにしたのかラーチャダムヌーンスタジアムへの行き方を教えてくれた。
迷うの迷うの(>_<)と必死に言っても私も英語さえ危ういし相手は英語が危ういタイ人だ。
...伝わらず。。。
途中まで送ってくれた。
迷うだけだと思いつつも、これ以上おじさんを私の迷子の付き合わせるわけにはいかん、と思っておじさんを解放するために、ラーチャに行くふりをして別れた。
おじさんはタクシーでも行けるように、と私のメモ帳にタイ語で「ラーチャダムヌーンスタジアム」と書いてくれた☆優しいすぎだわ☆

とりあえずちょっとスタジアムの方に歩いてからまた地図を広げ、自分でうろちょろしてみた。
ワット・セマラコットって文字はどこにもないわけさ。
いや余計迷子になること間違いないしだぜ☆

でけてうろちょろし始めて約1時間が経過。
ちょっとどうなんこれ？あきらめはやだじゃーと思い始めたとき、なんと偶然にも先ほどスタジアムを教えてくれたおじさんと再会☆
まだ迷ってるのか？と心配そうに寄ってきてくれたので、ホントに優しさをかみしめつつも、スタジアムに行きたいんじゃないんすよってことをまた必死に説明。
するとおじさんには迷子具合からも自分が言ったことは違うとわかってくれたらしく、私のジムの説明とジェスチャーを必死で読み取ろうとしてくれた☆
そしてこの近くのジムに行きたいということだけは伝わったらしく、コンビニの前で屋台をやっている人たちに聞いてくれた☆
屋台のおじさんたちはなにやら指差しながら説明してくれていた☆説明を聞いたおじさんは「あー☆」と納得の声を何度もあげ、私のところに戻ってきて、ついておいで、と言ってくれた☆
そして結局約10分の道のりをジムまで一緒に歩いて連れてってくれた☆
さらにジムに着いたらジムには英語わかる人がいなかったでタイ語で私が写真を撮りたがっていることを説明してくれて、ジムの人はあっさり入れ入れと呼んでくれた☆





優しすぎるー☆感動だよー☆
 ホントにすごく嬉しくて感動しているのに、語学力のなさで、自分のシャイ具合に負けていま
 いち感謝を表現できなかった気がする★
 おじさんはとても素敵な笑顔で帰っていったけん、ホントはもっと感謝を伝えたかったな★

人に感謝するとき、語学力は必要だね☆
 私はタイ語でアリガトウさえ知らなかったから...ちょっとへこんだ★

でも、すごくいい人たちがばかりに会えてよかった☆
 ホントに嬉しい☆
 タイの人は優しい☆

カテゴリ:

post by 谷本 結利 | 日時: 2006.05.13 | [バーマリンク](#) | [コメント \(23\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

engage > 2006年05月 アーカイブ

06.05.02

ムエタイ☆Muay-Thai☆

Tweet

いいね! 0

チェック 文章はできなのに
なぜかファイルの
アップロードをクリックしてもページひらかなくて全然アップできなかったぜ。

もはや、そーいやアンコールワットも行ったな...ぐらいの記憶だな。



かみちゃんとえみちゃんとこんちゃん。
 行く前日に五十嵐先生から「感動した」「ホントすごい感動した」と熱く語られていて、ま
 あ...うんうん世界遺産だね、すごいわぁ☆くらいな。

いやまぁ感動はしたよ。
 でもまぁそれほどでも...。いっぱいありすぎて最終的なのはみんな飽きてた気が...。
 とかね。嘘嘘。感動するって (>_<)
 感動のでかさは人それぞれということ...

普通の観光で飛行機でいきなりシエムは行ってバスでアンコールまで運ばれたらまた感想は違
 うだろうけど、いろいろありすぎてね。

次の日はカンボジア班の写真展を見るべく孤児院に行った☆
子供たちはみんな笑顔で元気で可愛かった☆

しかし子供が苦手な私。。。
遊べないよ子供と。

でもそれは言葉が通じってしまう日本国内での話だった。

高校で保育実習に行ったときは、無邪に「いい子だねェー」「よくできたねェー」「ちゃんとできるかなー」みたいなことを必然的に言わなくてはならない状況におかれた。
私はこれが苦手なのよ。まぢムリ。まぢ嫌い。(結局一度もそんな発言とぼしていない)

しかしここはカンボジア。
言葉は通じるわけもなく、そして子供は容赦なくとひかかってくる。
ちょっかいだされて追いかけられていうのをやめてるだけで子供は楽しいらしいし、私も楽しかった。言葉が通じないことがこんなにいいことはね。
しかし子供のフットワークについていけず、ピーサンは壊れた。小回りすぎすぎでしょ子供。



地雷博物館にもかなちんとこんちゃんと先生とで行った。



ここは元少年兵であり自分でも地雷をうめていた、アキー・ラ (通称アキラ) さんが政府からの援助なく自らつくったところ。

自分で敷いた地雷が展示してある。
どのタイプの地雷はどんなところに埋めるとか、殺傷能力なども細かく書いてあった。
いまでも多くの人が犠牲になっていることも。

地雷をなめていた。こんなに恐ろしい平気だったなんて。
一番多いタイプは小さくて直径10センチ以内のやつ。
怪我を負わせるだけで、殺しはしなければ仲間兵士が傷ついた兵士を運んだり手当したりしなくてはならず、戦闘に参加できる兵士の人数が減る。そんなことまで計算づくめだ。

戦車を吹き飛ばすための地雷もあった。
もっと怖かったのは、タバコ型の爆弾。
半分までは吸っていてもなんともないのに、半分以上吸い進めるといきなりタバコが熱くなり、爆発するというもの。
爆破の衝撃と中にしまわれている鉄釘などで脚がふぎとぶ。

いまはタバコ型はないだろうけど、地雷はまだたくさんある。
実際足や腕がない人はたくさん見た。物乞いする人もいれば音楽を演奏して稼いでいる人もいた。

そういう人に対する差別は地雷がない他の国の人だけだと思っていた。
でも、違った。
こんちゃんとえみちゃんとご飯に行こうと夜歩いてたとき、前から若者が4人歩いてきた。
私たちを見ると、その中の一人がへらへら笑いながら、地雷によって足を失った人のまねをしながら物乞いのまねをしていた。他の3人もへらへら笑っていた。

すっっっっごく不快だった。
何なんだろうねえ。。
よくわからないよね、そんなことができてしまう気持ち。
理解できない。



さていまはバンコク。
バンコクに入るにはこのフィールドワーク中最も難関と言われたポイベトからの陸路での入国があった。
いやなぜ飛行機にしないんだ。お金の問題かもしれないがまた映像的に陸路の方がおもしろい理由が。。
ポイベトは昼間のスリ率90%、夜間は120%なのでホテルから一歩もでるなといわれた。ガイドブックには、ポイベトは危険なので泊まらないでくれと書いてあった。
なぜここに泊まってしまっているの。。
出国入国は思いのほかスムーズにいった。
でも荷物検査がない具合が恐ろしい。何が入るかわからないのにさ。
そこからはバスでバンコクへ。
いやぁカンボジアと比べたらすごく発展してる。国境付近の田舎でさえ道路は舗装され、コンビニもあった。

またけいちゃんとかんちゃんでご飯に行ったが、迷子になった。
まさかこのメンツで迷子になるとはね。いつもまかせてれば目的地着くからこの日もまかせっけりだった。チャイナタウンを抜け出るだけでも相当大変だったね。

1時間半歩いてやっとデパートみたいなのについた。
迷ったが結局日本食。
けいちゃんとはどん&かつどん、かんちゃんとはんかつ定食&鉄火巻きを食べていた。
...まァ食欲があるってのはいいことよね。

けいちゃんとかんちゃんとブーケットへのバスのチケットを手配しに行ったとき、英語が通じなすぎてびっくりした。
何このタイ語のみの表記。カンボジアの方が英語表記多かったぞ。
窓口の人で英語がちゃんとわかる人は皆無。
誰かで買ったが予定より高いチケットになってしまった。でもまたやり直すのも、めんどすぎるし諦めがしてやめた。ホテルをけちろう。



けいちゃんはカンチャナブリ?に行くチケットをとりにきたのに窓口さえ見つけられず。。
ちゃんと行けたかな。

バンコクはでかい。
都会だぜ。街の広さでは東京よりでかいかもね。
細かな設備はなっていないけど、気にするのは日本人だけなのかな。

公園もでかい。



マックのキャラはちょっとおかしいのがいた。



BSTっていうモノレールもある。MRTも。

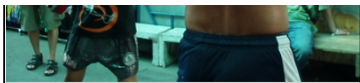


そんなことよりっっムエタイ☆Muay-Thai☆Thai boxingっっ☆ (>ω<) ★

かっこいいぜ☆
蹴りがやばい☆かっこいい☆
他の格闘技と違ってひじうち&膝蹴りがOKなので立ち技最強と言われているそうです☆

ジムに通って撮りまくってますが、あきないね☆





スタジアムにも行ったけど、VIP席2000Bの価値はありました☆
控え室まで勝手に入って撮影してたけんにも言わずむしろ、こいつを撮れ、あいつを撮れ
といういろいろまわされました。



すごく楽しかった☆ジムも一緒に行った五十嵐先生もすごく楽しかったと言ってくれたので
よかった☆

ムービーを見せれないのが残念ですな★



しかしまだラグビーの魅力には勝てないね☆

その後先生とホテルの近くの中華料理屋さんに行った☆



炒飯と炒麺は普通の味だけんうまかった☆
ツバメの巣のスープも食べた。。。うーん、微妙。
量が良かったです。。。





post by 谷本 結利 | 日時: 2006.05.02 | [バーマリンク](#) | [コメント \(24\)](#) | [トラックバック \(0\)](#) カテゴリ: